

3 1 中学校 音楽科 問題用紙

(3枚のうち1)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

(答えは、すべて解答用紙に記入すること。)

[1] 次の1・2に答えなさい。

- 1 次の楽譜は、ある楽曲の一部を示したものです。この楽譜に示された旋律を、長2度高く、調号を用いて移調しなさい。

著作権保護の観点により、掲載いたしません。

- 2 次の楽譜は、ある楽曲の一部を示したものです。これについて、下の(1)・(2)に答えなさい。

著作権保護の観点により、掲載いたしません。

(1) 楽譜中の(ア)～(エ)のコードネームについて、そのコードの構成音を、それぞれ書きなさい。

(2) 楽譜中の第8小節から第16小節までの旋律を用いて、ソプラノ・リコーダー1本、アルト・リコーダー2本の3つの声部によるリコーダー三重奏に編曲しなさい。第8小節から第16小節までの旋律は、どの声部に使われても良いこととします。なお、解答欄の五線譜の左横にある()内に、割り当てた楽器名を書きなさい。

3 1

中学校 音楽科 問題用紙

(3枚のうち2)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

(答えは、すべて解答用紙に記入すること。)

- 2 平成20年3月告示の中学校学習指導要領 音楽 第2 各学年の目標及び内容〔第1学年〕 2 内容 A 表現 (2) イには、「楽器の特徴をとらえ、基礎的な奏法を身に付けて演奏すること。」と示されています。このことを踏まえ、教材曲「聖者の行進」を用いてリコーダー二重奏を指導する場合、どのような学習活動が考えられますか、次の表に示された生徒の状況に基づき、題材名をあげて、3時間で扱う学習活動を書きなさい。

〈対象学年〉 第1学年	
生徒の状況	小学校では、第3学年から第6学年まで、ソプラノ・リコーダーを用いた学習を行っている。 中学校入学当初に実施したアンケートでは、約50%の生徒が「リコーダーの学習に興味・関心がある。」と回答している。一方で、否定的な回答をした生徒は、その理由に「きれいな音を出せないから。」「運指が難しいから。」等の理由を挙げた。ソプラノ・リコーダーで既習曲を演奏したところ、30%の生徒は、リコーダーの基礎的な奏法に課題がある。アルト・リコーダーを演奏する活動は初めてである。

- 3 歌舞伎について、次の1~3に答えなさい。

1 歌舞伎「勧進帳」の原曲となった能の作品は何ですか。その能の作品名を書きなさい。

2 次の(1)・(2)は、歌舞伎に関する言葉です。その意味を、それぞれ簡潔に書きなさい。

(1) 下座音楽 (2) 産字

3 次の文章は、歌舞伎について述べたものです。文章中の(a)~(d)にあてはまるものを、下のア~サの中からそれぞれ選び、その記号を書きなさい。

歌舞伎は、(a)時代に始まった舞台芸術である。(b)は、歌舞伎を支える音楽の中心的な存在で、唄と細棹三味線が一体となった音楽である。舞台では、(c)(笛(能管)、小鼓、大鼓、太鼓など)が加わって舞踊の伴奏をする。歌舞伎では、(b)の他に、「竹本」と呼ばれる義太夫や、(d)など、語りと三味線による音楽も使われる。

ア 鎌倉	イ 手事	ウ 本曲	エ 長唄	オ 嘛子	カ 平安	キ 地歌	ク 段物
ケ 三曲	コ 清元節	サ 江戸					

- 4 第2学年の創作の活動において、「動機を生かした旋律をつくろう」という題材で、表現したいイメージをもち、反復、変化、対照などの構成や全体のまとまりを工夫しながら音楽をつくることを指導することとします。動機を基に、構成や全体のまとまりを工夫しながら音楽をつくることができるようになるためには、どのような学習活動が考えられますか。簡潔に書きなさい。

3 1 中学校 音楽科 問題用紙

(3枚のうち3)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

(答えは、すべて解答用紙に記入すること。)

5 次の1・2に答えなさい。

1 次の表は、音楽の種類や形態について説明したものです。表中の(a)～(d)にあてはまる言葉をそれぞれ書きなさい。

種類や形態	説明
(a)	ローマ・カトリック教会の典礼で用いられる単旋律の音楽。歌詞は大半がラテン語で、原則として無伴奏で歌われる。
雅楽	宮中や社寺などに伝承されている古代からの伝統をもつ樂舞。そのうち、(c)は、舞をともなわず、器楽合奏として演奏される演奏形式である。
ポリフォニー	複数の声部がそれぞれの旋律的独自性を保持しつつ動く音楽形態。別名(d)音楽と呼ばれる。
(b)	インドネシア、マレーシアにおける金属打楽器群を中心とする合奏。

2 第2学年の鑑賞の授業において、オペラ「アイーダ」(ヴェルディ作曲)を教材として取り上げました。生徒は、登場人物やオーケストラの表現の特徴を聴き取ることができます。しかし、音楽と他の芸術との関わりを理解して鑑賞することについては十分ではありません。生徒が、音楽の特徴と他の芸術と関連付けて理解するためには、オペラの鑑賞の授業においてどのような指導が考えられますか。簡潔に書きなさい。

6 次の1・2に答えなさい。

1 次の(ア)～(エ)は音楽に関する言葉です。その意味をそれぞれ簡潔に書きなさい。

(ア) ミニマル・ミュージック (イ) ホーミー (ウ) アポヤンド奏法 (エ) risoluto

2 次の(ア)・(イ)の楽譜は、ある楽曲の一部を示したものであります。それぞれの楽譜が示す楽曲名とその作曲者名を書きなさい。

(ア)

(イ)

著作権保護の観点により、掲載いたしません。

著作権保護の観点により、掲載いたしません。

7 平成20年3月告示の中学校学習指導要領 音楽 第3 指導計画の作成と内容の取扱い 2 (3)には、「我が国の伝統的な歌唱や和楽器の指導については、言葉と音楽との関係、姿勢や身体の使い方についても配慮すること。」と示されています。我が国の伝統的な歌唱や和楽器の指導において、姿勢や身体の使い方について、配慮する必要があるのはなぜですか。その理由を簡潔に書きなさい。

3 1

中学校 音楽科 解答用紙

(3枚のうち1)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

問題番号	解答欄			
1				
(1)	(ア)		(イ)	
	(ウ)		(エ)	
1	()			
	()			
2	()			
(2)				

3 1

中学校 音楽科 解答用紙

(3枚のうち2)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

問題番号	解答欄	
2	題材名 ()	
	時間	学習活動

※ 必要に応じて線を引いてよい。

3	1			
	2	(1)		
		(2)		
	3	(a)		(b)
(c)			(d)	

31

中学校 音楽科 解答用紙

(3枚のうち3)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

問題番号	解答欄				
4					
5	1	(a)		(b)	
		(c)		(d)	
5	2				
6	1	(ア)			
		(イ)			
		(ウ)			
		(エ)			
6	2	(ア)	樂曲名		作曲者名
		(イ)	樂曲名		作曲者名
7					